

9月
定例会



VOL.18

いかた 議会だより

平成21年(2009年)11月20日

発行 伊方町議会

編集 議会だより編集委員会

電話 ㊟-0211 (内線410)

㊟-2662 (直通)

芸術の秋 町内各地域で 芸能文化祭 が開催されました



伊 方



町 見



瀬 戸



三 崎

今 回 の 主 な 内 容

| | |
|------------------------|---------|
| 9 月 定 例 会 の 動 き | 2 P |
| 主 な 決 定 事 項 | 2 P~3 P |
| 第 16 回 臨 時 会 報 告 | 3 P |
| 20 年 度 決 算 ・ 玄 海 町 視 察 | 4 P |
| 一 般 質 問 ・ 議 長 会 研 修 会 | 5 P~7 P |
| 委 員 会 報 告 ・ 議 会 日 誌 | 8 P |



9月定例会の動き

第18回定例会は9月25日～29日開催

報告1件、条例1件、決算14件

補正予算11件、契約6件

その他3件、発議2件

(発議1件否決、他全て原案可決・認定しました)

主な決定事項

報告

平成20年度伊方町の財政の健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により報告

決算

平成20年度伊方町一般会計及び特別会計決算
別頁のとおり認定

条例

伊方町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

健康保険法施行令等の一部を改正する政令が施行されることに伴い条例の一部を改正【出産育児一時金に関する経過措置】

平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産した時に支給する出産育児一時金35万円↓39万円

補正予算

平成21年度伊方町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ5億115万7千円を追加し予算の総額を12億20億6、899万5千円とする

主な内容

(単位：千円)

| 事業内容 | 予算額 |
|----------------|---------|
| 新型インフルエンザ対策 | 8,379 |
| 子育て応援特別手当 | 7,424 |
| 産業振興促進対策事業補助 | 3,611 |
| 農道開設補助 | 1,478 |
| 農地有効利用支援整備事業 | 9,870 |
| 道路新設改良事業 | 71,045 |
| 地震防災マップ作成業務 | 6,285 |
| 人事異動等に伴う人件費の調整 | 56,081 |
| 財政調整基金積立金 | 108,000 |
| 町債管理基金積立金 | 100,000 |

平成21年度伊方町港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ86万6千円を追加し予算の総額を2、589万1千円とする

平成21年度伊方町老人保健特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ345万4千円を追加し予算の総額を736万1千円とする

平成21年度伊方町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ109万1千円を減額し予算の総額を1億7、634万7千円とする

平成21年度伊方町介護保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ1、383万8千円を追加し予算の総額を10億5、875万9千円とする

平成21年度伊方町学校給食特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ14万3千円を追加し予算の総額を4、911万7千円とする

平成21年度伊方町介護サビ入特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ170万8千円を追加し予算の総額を

1、590万8千円とする

平成21年度伊方町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ

1、759万9千円を追加し

予算の総額を

5億2、581万1千円とする

平成21年度伊方町小規模下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ

457万円を追加し

予算の総額を

2億7、385万8千円とする

平成21年度伊方町水道事業会計補正予算（第1号）

水道事業費用を

58万8千円追加し

費用の総額を

3億754万4千円とする

契 約

伊港交第4号の3 伊方港湊浦物揚場（12・0m）（Ⅱ）
築造工事請負契約の変更締結

変更前

5、890万5千円
変更後

6、279万円

（事業量変更による増額）

飛田建設株式会社

豊の浦漁港地域水産物供給基盤整備事業請負契約の変更締結について

変更前

1億4、679万円

変更後

1億5、666万円

（事業量変更による増額）

田中建設株式会社

足成漁港漁村再生交付金事業請負契約の変更締結について

変更前

1億4、553万円

変更後

1億5、687万円

（事業量変更による増額）

藤川建設株式会社

伊港交第5号 伊方港湊浦物揚場（12・0m）（Ⅱ）築造工事請負契約の締結について

契約金額

1億1、749万5千円

飛田建設株式会社

大成漁港漁村再生交付金事業（分割の2） 請負契約の締結

について

契約金額

1億1、340万円

堀田建設株式会社伊方支店

消防車両の取得について

契約金額

3、491万2千5百円

有限会社愛媛芝浦ポンプ商会

そ の 他

町道路線の認定について

認定した路線

町道二名津中央線

八幡浜市と伊方町との間における八西地域情報基盤整備事業事務の委託について

本町の八西地域情報基盤整備事業事務を八幡浜市へ委託

することについて、地方自治法の規定により提出するもの

不当利得返還請求の訴えの提起についての議決内容の一部変更について

平成19年2月7日付け第2号議案をもって議決された訴えの提起の内容を変更するもの

「4 事件に関する取り扱い及び

方針の内、訴訟において上記請求が容認されないときは上訴するものとする」を削るもの

発 議

伊方町政治倫理条例の一部を改正する条例制定について

伊方町政治倫理条例の一部を改正

次の1条を加えるもの

「第4条 議員、その配偶者及び

それぞれの一親等以内の者が経営又は役員をしている企業は、

町が行う工事等の請負契約、一定期間にわたる継続的な業務委託契約及び一般物品納入契約を

辞退しなければならない」

（否決されました）

経済危機対策の着実な実行を求める意見書の提出について

原案どおり可決



【第16回臨時会報告】

第16回臨時会は、8月21日に開催され、上程された議案は何れも原案のとおり可決されました。

○伊方町立三崎小中学校プール新築工事請負契約の締結について

契約金額 1億2、495万円

五洋・浜本特定建設工事共同企業体 五洋建設株式会社四国支店

○伊方町リサイクルセンター建設工事請負契約の締結について

契約金額 1億2、274万5千円

堀田建設・井上建設特定建設工事共同企業体 堀田建設株式会社伊方支店

平成20年度決算

監査委員による平成20年度の一般会計及び特別会計決算審査が、7月22日～8月3日にかけて実施され、更に、第18回定例会会期中の9月28日に全員協議会で審議し、9月29日の本会議において認定されました。

(単位：円)

| 会計別 | 予算現額 調定額 | 決算額 | | 歳入歳出 差引額 |
|--------------------------|----------------------------------|----------------|----------------|-------------|
| | | 歳入 | 歳出 | |
| 一般会計 | 12,107,029,000 11,519,137,240 | 11,407,120,512 | 11,056,671,735 | 350,448,777 |
| 学校給食特別会計 | 46,691,000 46,798,343 | 45,884,485 | 45,737,744 | 146,741 |
| 住宅新築資金等貸付事業特別会計 | 9,848,000 10,162,334 | 10,162,334 | 4,283,673 | 5,878,661 |
| 国民健康保険特別会計 (事業勘定) | 1,869,445,000 1,936,616,697 | 1,870,062,393 | 1,764,772,139 | 105,290,254 |
| 国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定) | 653,039,000 644,782,689 | 644,782,689 | 637,607,571 | 7,175,118 |
| 老人保健特別会計 | 205,139,000 203,809,985 | 203,809,985 | 201,345,261 | 2,464,724 |
| 後期高齢者医療保険特別会計 | 151,346,000 148,076,980 | 147,802,290 | 144,572,172 | 3,230,118 |
| 港湾整備事業特別会計 | 22,635,000 22,803,313 | 22,803,313 | 3,324,300 | 19,479,013 |
| 公共下水道事業特別会計 | 656,469,000 511,500,063 | 511,484,943 | 498,631,513 | 12,853,430 |
| 小規模下水道事業特別会計 | 202,539,000 125,547,192 | 125,543,792 | 120,968,542 | 4,575,250 |
| 特定地域生活排水処理事業特別会計 | 42,709,000 40,316,213 | 40,316,213 | 40,290,713 | 25,500 |
| 介護保険特別会計 | 1,044,633,000 1,061,812,172 | 1,057,693,072 | 1,022,983,601 | 34,709,471 |
| 介護サービス特別会計 | 13,536,000 13,468,491 | 13,468,491 | 6,685,972 | 6,782,519 |
| 風力発電事業特別会計 | 45,543,000 43,761,665 | 43,761,665 | 44,696,700 | △935,035 |

玄海町を訪ねて

原子力行政の視察調査を目的に8月24日～26日に向け、議員15名及び町長他職員3名の19名にて、原子力発電所を立地している玄海町へ行って参りました。

玄海町は、佐賀県の西北部、東松浦半島の中央に位置し、人口約6、700人の農業と漁業を基幹産業とする町です。

玄海発電所は、九州の電気の約3割を賄う九州で一番大きな発電所となっております。

玄海町役場では「プルサーマル計画を巡る経緯」「核燃料サイクル交付金に係る整備計画」「中間貯蔵施設設置に係る検討状況」等について、忌憚のない話を伺い、活発な意見交換会となりました。



一般質問

通告概要

篠川 長治 議員

- 伊方町公民館条例&伊方町集会所条例等について
- 職員のパ派遣と公益法人職員の受け入れ等について
- 亀ヶ池温泉の指定管理料等について

榊田 和美 議員

- 災害時要援護者の避難支援対策について
- ヒブワクチンの助成について

菊池 隼人 議員

- 高齢者福祉施設施策について



篠川 長治 議員

伊方町公民館条例&伊方町集会所条例等について

問 伊方町集会所条例では、町民の生活文化の振興と社会福祉の増進を図り、もって町民に健全で明るい生活を営ませることを目的とし、町内各

地区に集会所施設が設置されている。自治会、町内会等の団体は地域社会において重要な役割を担っているが、通常いわれる権利なき団体であり、その名義での不動産登記ができないこと等から財産上の問題が生じていたが、平成3年地方自治法の一部改正により法人格を付与する途が開かれ、地縁による団体は、地域的な共同活動のための不動産または不動産に関する権利等を保有するため市町村長の認可を受けた時は、その規約に定める目的の範囲内において、権利を有し義務を負うことになった。

そこで、お伺いします。

(1) 自治法の改正前では、本来各地区の財産であっても各地区の名義で登記がで

いたため、便宜上、町名義で登記しているものであり各地区から返還請求があれば当然返還に感じなければならぬと思っていた。しかし、第17回定例会の中で町長は、川之浜集会所は町の財産であると答弁された。ということは前述の集会所は全て町の財産と理解してよろしいか。

(2) 川之浜集会所の解体工事費用は全額町の負担なのか。

(3) 今後集会所等の改築費用は全額町の負担で実施するのか。

答 (1) 町が事業主体となつて整備した施設であり、町が所有する財産である。

(2) 川之浜集会所は昭和42年に旧瀬戸町において建築された建物であり、現在は老朽化に伴い柱が腐食する等、非常に危険な状況となつており、全額町の負担により解体する。

(3) 町が責任をもつて対処する必要があり主体となつて整備しなければならないと考えているが、一般的な規模を超えるものについては、財源等の問題から地区に負担をお願いすることも想定される。

(町長)

職員の派遣と公益法人職員の受け入れ等について

問 地方公共団体が設立または関与する公益法人や第三セクター等については、人材の

確保や専門的知識の活用による円滑な事業推進等の観点から、地方公共団体の職員を派遣し、当該公益法人の事務に従事させることは条例で制定されている。職務命令による公益法人等への派遣は、地方公共団体の事務として通常の職務命令を出すものであれば職員の身分保障上は問題ないと思うが、公益法人等の事務を地方公共団体の事務と同一視できるかという疑義が生じる。

そこで、お伺いします。

(1) 職員の配置転換に関連し、先の議員協議会で2人の議員から問題提起があり、この件について調査するように申し入れを行った。このことについて報告を求めます。

(2) 町の保健師をつわぶき荘へ、つわぶき荘の職員を保健福祉課へ職員交流の名目で配置転換しているが、交流という名目での配置転換は問題ではないか。

地域包括支援センターは主任ケアマネジャー、社会福祉士及び保健師等が互いに連携を取りながらチームとして、高齢者やご家族の皆様を医療や福祉等、総合的に支援することを目的として設置している。そのスタッフ、保健師であり主任ケアマネジャーである職員を、つわぶき荘へ派遣することは行政上からも問題ではないか。

(3) 施設のサービスを受けた人の満足度は、サービス担当者との心と技、つまり職

員の質によってもたらされる部分が大いと言われている。保健福祉課へ配置転換になった職員は施設入所者からの信頼も厚かったと聞き及んでいる。このようなことから、この配置転換は双方にプラスになっていないという感触を得ている。また、行政上からも問題ではないか。

答 (1) この件については人事交流が原因で生じた問題ではなく、つわぶき荘で従来より潜在的に抱えていた対応困難者に対する消極的な受入姿勢について関係機関から指摘があったものであるが、直ちに対応を行い事態の収拾が図られたとの報告を受けている。

(2) 包括支援センターは、サービスを必要とする要介護者等のニーズと、サービスを提供する介護従事者の間で必要なサービスの提供が確保できるよう連絡調整及び便宜を図ることを業務としており、両施設は、本町の介護サービスを支える中心的な機関として密接な関係にあることから、人事交流は今後の両施設の連携を深めるためにも非常に役立つものと考えている。

今回の人事交流を期に、指導者としての適切な人材を招きたいとの申し出があった。町としても派遣した職員自身が現場の実情を認識し機動的な対応能力を獲得し将来の管理職員としての指導能力を発揮してもらいたい、このように考え、介護保険に精通し町

内の高齢者の実情を熟知していること、町の介護サービスに対し意見をまとめる能力を有すること等を総合的に備えた優秀な職員を選した。派遣した職員が現場での経験を積むことにより、職員自身のキャリアアップ、また将来的には町の介護サービスの向上にも相当のメリットが期待できると考えている。

(3) 町では第4期介護保険事業計画において小規模特別養護老人ホームの施設整備を予定しており、その施設運営について町内事業者の算入の是非について調査研究する必要が生じている。つわぶき荘から派遣された職員には将来の施設経営の可能性等について、現場を熟知する立場から、その調査研究作業に従事して頂くたく、人選にあたっては知識と経験を有し、更に人事管理面での経験を有する総合能力のある職員をお願いした。町の介護サービス基盤整備のためご理解頂きたい。

(町長)

亀ヶ池温泉の指定管理料等について

【図】亀ヶ池温泉の基本構想策定調査報告書では、集客数年間9万4千人で、収入7、676万円、支出7、914万円8千円で年間238万8千円の赤字だが、赤字については従業員の配分等で収支均衡を図るとの説明であった。その

後、町は利用料金の改正により年間約1、285万円の増収効果があると説明しており、当初の赤字見込額を差し引いても、1、046万2千円の黒字決算となるはずである。また平成19年度と20年度は収支計画の収入見込額を上回った時は必要経費控除後の50%を町へ納付するとなっているが、19年度利益は1、476万3千円、20年度利益は957万5千円を計上している。そこで、以下について説明を求めます。

(1) 19年度、当初協定料918万6千円+費用実費1、181万2千円から、町への納付金1、354万7千円を差し引いた745万1千円が指定管理料となっていることについて。

(2) 20年度、当初協定料1、498万6千円+費用実費4万9千円から、町への納付金922万4千円を差し引いた581万1千円が指定管理料となっていることについて。

(3) 基本構想では年間利用者数9万4千人となっているが19年度は11万5、456人、20年度は18万3、736人と大きく上回っている。また指定管理者の収支計画では、19年度5、148万円、20年度8、204万円となっているが、損益計算書では、販売費及び一般管理費が19年度(8月~3月)6、656万9千円、20年度1億663万7千円と大幅に上昇しているがその理由。

(4) 設計者の実績データは、年間利用者10万人で収支均衡が図れる施設を目標とするとなっているが、その根拠について。

(5) 指定管理者のマージンについてどのようにお考えか。

(6) 21年度の指定管理料は0円であることに鑑み、利用料収入が収支計画を上回った時は経営努力の対価とみなし町への納付金は要しないこととなっていることについて。

【答】(1)・(2) 指定管理料については、町と指定管理者が協議を行い年度ごとに定めているが、温泉施設は過去に例のない施設のため維持管理費用の推計が困難な項目があり、開業後、自分の間は町が提示した金額を基準として試算し、年度終了後、実績額との差額を加算・減算して指定管理料を精算する方法を採用した。更に収入について納付金の精算を行い、そのような額となった。

(3) 一般管理費が試算額を大きく上回った要因は光熱水費の増加で、これは営業日数を40日程度増やしたことや燃料費の高騰、加温ボイラーの稼働見込率を低く見込んでいたこと等が原因である。

(4) 設計業者が過去に設計した温泉施設において利用者数10万人程度で収支の均衡が図れている施設があり、物販や飲食施設による付帯収入のアップ、またランニングコス

トの低減を目指した省エネ型設備の採用等により同様の目標を設定した。

(5) 指定管理者制度とは行政にかわり民間事業者が、そのノウハウをもってより効果的な管理を実施し住民サービスの向上と行政のスリム化を図るもので、それに対する対価として、指定管理者が一定のマージンを得ることは至極当然のことと考える。ただそれが適正な対価かということについては、毎年度の収支状況を検証し年度別協定により調整したい。

(町長)



亀ヶ池温泉

柘田 和美 議員



災害時要援護者の避難支援対策について

【問】政府は、平成18年3月に災害時要援護者の避難支援ガイドラインを示し、市区町村に対して具体的な避難計画を策定するよう要請してきたが、自然災害の犠牲者ゼロを目指すため、21年度をめどに市町村において要援護者情報の収集、共有等を円滑に進めるための避難プランの全体計画が策定されるよう促進し、災害時要援護者が安全に避難するための支援体制を確立することが新たに明示されている。

【答】伊方町の進捗状況と今後の計画について、お聞きします。

【問】年度内完成を目指し検討会を開催しているところであり、今後、更に福祉関係者、消防団等の協力をいただきながら登録情報の精度を高め、21年度末には全体計画、22年度末には要援護者に対する

個別プランを完成させたい。
(町長)



原子力防災訓練

ヒブワクチンの 助成について

問 ヒブワクチンは昨年12月
から販売が開始され任意接種
が可能になったばかりで耳慣
れない名称であるが、乳幼児
に重い細菌性髄膜炎を引き起
こすヒブ菌で、かつては脳膜
炎とも言われていた。細菌に
よって発症すると死亡したり
知的障害や聴覚障害が残ると
言われている。3万円と高額
であるがヒブワクチンに対す
る助成を導入している自治体
も増えている。

伊方町においても助成への
検討を要望します。

答 ヒブワクチンの予防接種
については任意ということも
あり、現在、県内でワクチン
に対する助成を行っているこ
ろはない。予防接種の必要

性は認められるものの、ワク
チン自体が昨年末に発売され
たばかりであり、副作用等安
全性の問題からも町が積極的
に助成をする必要があるかど
うかについては、今後、国や
県の動向を踏まえ検討しま
いりたい。
(町長)

菊池 隼人 議員



高齢者福祉施設 施策について

問 (1) 第4期介護保険事
業計画・高齢者保健福祉計画
において、介護保険・老人福
祉施設を整備する予定である
が、どうなっているのか。

(2) 介護保険・老人福祉施
設を整備するために社会福祉
協会との人事交流を行っている
のか。運営しないのであれ
ば人事交流は必要ないと思っ
た。町ではどう考えているの
か。

(3) 医療制度改革(医療療
養病床の削減・介護療養病床
の全廃)や、町の第4期介護

保険事業計画の施設入居者の
目標によると介護難民が発生
するのではないかと思うが、
町ではどう考えているか。

答 (1) 今後更に高齢者の
増加が見込まれ介護サービス
を提供するための基盤整備が
必要となってくるが、県にお
いては施設整備に対する許認
可等の制約があり、自由な施
設整備は出来ないものとなっ
ている。そこで第4期計画で
は、町の判断で整備できる地
域密着型サービスから、小規
模な特別養護老人ホーム、認
知症高齢者のグループホーム
、小規模多機能型居宅介護
の3種類のサービス提供基盤
の整備を見込んでいる。また
これらの施設は現在三崎地域
には整備されていないことを
考慮し三崎地域を優先して検
討することとしている。

(2) 計画している施設は非
常に小規模な施設であり経営
面を考えれば、既に他の福祉
施設を経営する法人によって
管理部門の一元化による効率
的な経営が望ましい。また、
職員の採用に伴う雇用の増大
等、企業誘致の観点からする
と地元事業者による運営を優
先する必要がある。更に、つ
わぶき荘にはかねてより増床
希望があり、そのニーズに応
えることが可能となる。これ
らのことからつわぶき荘によ
る運営が望ましいと考えてい
るが、理想と現実のギャップ
や法律上クリアしなければな
らない問題もあると思われ、

今のつわぶき荘の組織におい
てそのような対応が可能かど
うか明確ではない。それらに
ついて総合的に検討したいと
考え、そのためにつわぶき荘
から職員を招き、検討作業に
おいて介護現場の現状や問題
を具体的に説明していただき
、施設職員としての経験を
これからの計画の中に反映し
ていただきたくお願いしてい
るものであり、ご理解いた
きたい。

(3) 町が今後整備しようと
している施設は町民に限り利
用させることが可能な施設で

あり、施設が出来れば待機者
の解消には十分な効果がある
と見込んでいる。
(町長)



第50回四国地区 町村議会議長会研修会 議長会創立60周年記念

さる10月9日、愛媛県
武道館において四国の各
町村から議会議員約20
0名が参加し第50回四国
地区町村議会議長会研修
会が開催され当町議会議
長も議員12名事務局2名
が参加しました。

研修会では、「09政権交
代選挙―自民・民主権力
闘争の舞台裏」と題し、
政治ジャーナリスト泉宏
先生の講演、更に「日本
再生への道―強く美しい
日本の未来に向けて」と

題し、評論家金美齢先生の
講演が行われました。泉宏
先生の政治記者という立場
から見たリアルな政権交代
の裏側、またテレビでも活
躍されている金美齢先生の
講和に参加した議員らは熱
心に聴き入りました。



委員会（協議会）報告

| 月 日 | 委員会（協議会） | 概 要 |
|-------|-------------------------------|---|
| 9月10日 | 議会運営委員会 | 第18回定例会の運営について |
| 9月16日 | 生活福祉委員会 | 9月17日開催の議員全員協議会の所管事務の勉強会 |
| 9月17日 | 議員全員協議会 | 平成20年度伊方町の財政の健全化判断比率及び資金不足比率について 平成20年度愛媛地方税滞納整理機構の徴収実績について 町道路線の認定について 子育て応援特別手当について 新型インフルエンザの感染予防対策について 八幡浜・大洲圏域における地域医療再生基金事業について 伊方町健康交流施設 亀ヶ池温泉指定管理者の募集について 八西地域情報基盤整備事業について 退職手当組合負担金について 条例等の改正について その他 ①伊方ウインドファーム事業の進捗状況について ②愛媛マンダリンパイレーツ球団(株)への出資について ③伊方町次世代育成支援後期行動計画について ④伊方町男女共同参画基本計画の策定について |
| 9月24日 | 議会運営委員会 | 割増退職金返還請求訴訟の件について |
| 9月25日 | 議員全員協議会 | 〃 |
| 9月28日 | 議員全員協議会 | 平成20年度一般会計等決算審議 |
| 9月29日 | 議会運営委員会 | 第18回定例会追加議案の審議について |
| 10月7日 | 議員全員協議会 | 核燃料サイクル交付金について |
| 11月4日 | 総務文教委員会 産業建設委員会 生活福祉委員会 | 合同現地視察 伊方保育所改築工事 伊方町リサイクルセンター建設工事 伊方町斎場新築工事 伊方町立三崎小中学校プール新築工事 |

議 会 日 誌

| | | | |
|--------|--|--------|---|
| 8月4日 | 議会だより編集委員会 議会運営委員会 伊方地区忠霊塔戦没者慰霊祭 | 17日 | 議員全員協議会 |
| 5～6日 | 第7回全国原子力発電所立地議会サミット 実行委員会（東京都） | 18日 | 例月現金出納検査（監査委員） |
| 12日 | 伊方原子力発電所環境安全管理委員会（松山市） | 24日 | 議会運営委員会 |
| 15日 | 愛媛県戦没者追悼式（松山市） | 25～29日 | 伊方町議会第18回定例会 |
| 19日 | 伊方町環境監視委員会 | 28日 | 議員全員協議会（決算審査） |
| 20日 | 例月現金出納検査（監査委員） | 29日 | 議会運営委員会 |
| 21日 | 伊方町議会第16回臨時会 | 10月1日 | 第5回伊方町老人クラブ連合会スポーツ大会 |
| 24～26日 | 玄海町視察（佐賀県） | 6～7日 | 第19回町村監査委員全国研修会（監査委員） （東京都） |
| 9月8日 | 区長会 人権教育地域推進員研修会 | 7日 | 議員全員協議会 |
| 10日 | 議会運営委員会 | 9日 | 第50回四国地区町村議会議長会研修会並び に第2回町議会議員研修会（松山市） |
| 11日 | 八幡浜地区施設事務組合消防職員意見発表会 | 16日 | 八幡浜地区施設事務組合議会臨時会 例月現金出納検査（監査委員） |
| 12～14日 | 泊マラソン（北海道） | 18～19日 | 県町村議会議長会第1回定例会（愛南町） |
| 16日 | 生活福祉委員会協議会 | 21日 | 伊方町行政改革推進委員会 |
| | | 28～29日 | 全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員 会（東京都） |